



公明みさと

2014年
新春号

編集／発行

平成26年1月発行
公明党三郷市議団
三郷市役所(公明党控室)
TEL 048(953)1111

左から鈴木・中野・木津市長・酒巻・佐藤・鳴海



主な要望内容

1. 少子化対策として、保育所環境整備及び待機児童解消の推進
 2. 防災・減災対策として、避難施設対策及び治水計画の促進
 3. 高齢者対策として、地域福祉計画の更なる推進
- 他、123項目にわたり要望致しました。



公明党議員団(酒巻宗一団長)は、木津雅晟市長に対し、党の基本理念である「福祉」「教育」「環境」「平和」を柱とする、市民本位の市政運営を推進するために、平成26年度予算編成にあたって、諸施策に関する要望書を提出致しました。

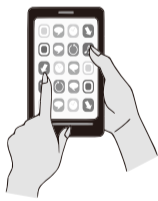
平成二十六年 予算要望書を 市長へ提出!!

聴覚・言語障がい者のために「WEB(ウェブ)119」がスタート

公明党は、聴覚・言語障がい者のために、緊急時にファックス通報ではなく、携帯などから簡単に緊急通報できるシステムの提案を行ってまいりました。

その結果、平成25年11月から火災や病気、災害など緊急時に会話での通報が困難な聴覚や言語に障害のある人を対象に、携帯やスマートフォンから簡単に119番できるシステム「WEB 119」を実施出来るようになりました。

また、通報者の位置が分かるGPSを活用しているのが特徴で、県東部地区では初めての試みとなりました。



三郷中央駅前に病児・病後児保育が実施されます。

働くお母さんたちから「子どもが病気であっても長く休みが取れずに困っている」との相談が数多く寄せられておりました。

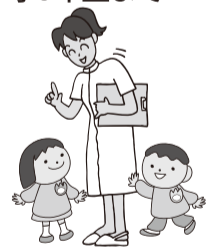
公明党は、長年にわたり質問や要望を行なってまいりましたが、この度、病児・病後児保育が、1月から市内の医療機関と連携して、三郷中央駅前「みさとしらゆり保育園」施設内で実施されるようになりました。今後とも、子育てしやすい三郷を目指して、全力で取り組んでまいります。

対象年齢：保護者が市内に在住している11ヶ月児から小学3年生まで
(医師が保育可能と判断した場合)

人数：1日4名まで 利用時間：午前8時～午後6時

※保育士・看護師が常駐し見守ってまいります。

※利用にあたりましては、市役所すこやか課に事前登録が必要です。



市立図書館が新設(郷土資料館と併設)されます!

三郷市では、平成25年3月18日に「日本一の読書のまち」を宣言し、市民総ぐるみの読書活動を推進しております。その一環で、現在の市立図書館を郷土資料館との複合施設として、隣接地に移転新築されます。

新しい図書館では新刊本を充実させ、市内図書館ネットワークを利用した迅速なリクエスト対応を行います。

また、インターネット閲覧端末を増設し、最新の情報を提供します。加えて、郷土資料館では市の歴史を身近に感じられるよう、昔の三郷の人々が実際に使用した農耕具・民俗資料などの常設展示やテーマを決めた企画展示を行います。

施設は、4月下旬オープン予定となります。

公明党は、一般質問や要望書を通して、建設を推進して参りました。



(鉄骨造平屋建て 延床面積約600㎡)

定例議会の一般質問要旨

9月

12月

各駅前に、温度計とミストシャワーの設置を

今年、平成19年に熊谷市で記録された40.9度を超え、8月12日に高知県四万十市で、国内史上最高の41.0度を記録し、話題を呼びました。熱中症対策として、猛暑や酷暑の夏を乗り切る対策として、温度計やミストシャワーの設置が必要と考えます。温度計は、外出などでいち早く気温を確認することで、自身で、心の準備や熱中症対策を早めに講じることが出来ます。

また、ミストシャワーは、細かい水の粒子を噴射することで気化熱を利用し気温を下げてくれます。そこで各駅前などに、温度計とミストシャワー設置について質問しました。

《その他の質問》

◎都市計画道路、新和吉川線・三郷流山線について



「空き家等の適正管理に関する条例」の早期制定を

総務省統計調査(2008年)によると、埼玉県の総戸数302万9千戸に占める空き家率は10.7%であります。

空き家を放置すれば、雑草や樹木の繁茂、ネズミや害虫などの発生等による衛生被害の問題、また火災の心配、更には、不審者侵入による防犯上の問題が生じます。

空き家対策の実効性を確保するには、早期に行政執行を含めた条例制定が必要と考えます。

そこで「空き家等の適正管理に関する条例」の早期制定について、質問しました。

《その他の質問》

◎「内部障がい」の理解について



人間ドック受診に対する助成について

市が行っている健康診査、がん検診とは別に、さらに検査項目の多い人間ドックを受診し、より詳しく自身の健康状態を知り、病気の予防、早期治療に心掛けている市民は少なくありません。そうした市民は、医療費の削減に大きく貢献しているにもかかわらず、人間ドックの費用、概ね4万円を超える金額を全額自己負担しています。そこで、市として一定の助成制度を導入し、人間ドック受診者の負担を軽減することについて、質問しました。

《その他の質問》

◎高齢者の見守り体制の強化について

◎避難所の防災備蓄品の拡充について



救急医療情報キットの活用の改善を

救急医療情報キットは、単身高齢者の方が救急車を要請した際に医療情報を提供するための書類と容器で、平成22年度から配布されています。その後、障がいのある方にも対象が拡大されました。

そこで ①情報シートをそのまま病院まで運び、より迅速に救急搬送できるマニュアルづくり ②医療情報シートを定期的に届けて内容を更新する取り組みを行うこと ③配布対象者を拡大し、希望する市民に配布するとともに十分な周知を図ることについて質問しました。

《その他の質問》

◎国保医療費の適正化について

◎小中学校におけるアレルギー対策について



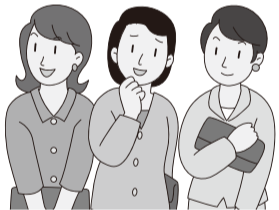
集団検診の「レディースデイ」実施を

毎年健康診断を行い健康管理をしていく事は、予防医療の観点からも重要であります。現在、市の集団検診は男女同日に行われ、女性からすると検査を受けづらい環境です。女性だけで受診できる「レディースデイ」及び、土日の実施も含めて質問を致しました。

《その他の質問》

◎図書館の駅前返却ポスト設置について

◎県道の歩道整備について



ICウォークの二郷半用水沿い遊歩道への設置について

超高齢社会に於いて健康寿命を延す事は市として重要な施策となります。歩く事は健康推進に効果がありますが、ICウォークは世代を超えて歩ききっかけ作りとコミュニティの形成に期待の持てる事業です。戸ヶ崎地域にコースがない為、二郷半用水沿い遊歩道への新コース設置について質問をしました。

《その他の質問》

◎水害対策と排水対策、災害時の市民への情報発信について

◎二郷半用水沿い遊歩道の防犯灯設置について



12月議会について

平成25年12月定例市議会が、12月2日から13日までの12日間の会期で開催されました。議案15件を慎重に審議し、いずれも原案に賛成し、可決成立しました。

主な議案

① 行政組織の改善を図るための条例改正

多様な住民ニーズに対応し、行政事務の効率化を推進するため、4月1日より、9部47課・室から、11部55課・室に組織改編されます。

② インター南部土地区画整理事業に伴う町名の変更

現在の番匠免2丁目、彦沢2・3丁目、彦江2・3丁目、花和田から、換地処分後に、「インター南1丁目」「インター南2丁目」の町名に変更されます。

③ 一般会計補正予算

(仮称)権利擁護センターの委託事業、斎場別館建替え設計費、消防署北分署建替え設計費等の予算が盛り込まれました。

公明党市議団



さかまき 宗一
☎955-2772



中野 てるお
☎957-7686



鈴木 しんたろう
☎958-7486



佐藤 むつろう
☎954-1554



なるみ 和美
☎955-7715

お気軽にご相談はお気軽に!!

公職選挙法の規定により、議員の寄付行為や年賀状など時候の挨拶状は禁止されております